

藻岩嶺



題字：山田 律子



夏の藻岩山

研修医がやつて来る!!

本年七月からいわゆる「研修医」が当院に来ます。当院は幌南病院の協力病院として厚労省から臨床研修指定病院に指定されています。医師となつて二年目の研修医が精神科研修を行うために当院に来るので、「研修医」とは言つても昔のインター制度とは異なり、国家試験に合格し医師免許をすでに取得した「医師」です。外来診療室での同席や入院患者様の診察・診療を担当しますが、患者様への責任を明確にするために当院では指導医のもとで診療に携わります。医師が一人前となるためには医学知識を教科書で勉強するだけではなく、実地で様々な経験を積むことがとても重要です。患者様の同意とご協力を頂いて、二ヶ月という短い期間ですが研修医が精神科での貴重な経験を積めるようにと計画しています。

最近の日本における医学教育の変化はめまぐるしく、五、六年前から劇的な変化が起きています。少し専門的になりますが、早期体験実習（医学部は六年制で従来は一・二年目は他学部と同様に教養科目のみ勉強していましたが、この期間に医療現場での見学などを行う試み）、チュートリアル教育（従来の講義形式の教育ではなく、与えられた課題を学生が自ら調べて勉強する）、クリニカル・クライクシップ制の臨床実習（単なる見学ではなく、学生が医療チームの一員として参加しながら勉強する）、OSCE（客観的臨床能力試験・模擬患者様の診察をしたり、各種診断行為を実地テストする）といふ、主にアメリカ式の医学教育がどんどん取り入れられています。そのような教育環境で育った若い医師達から我々も刺激を受けながら新しい時代の医療に当院も取り組んで行きたいと考えています。皆様のご協力をお願い致します。



平松記念病院
副院長
武藤 福保

ポチの おじやまします！

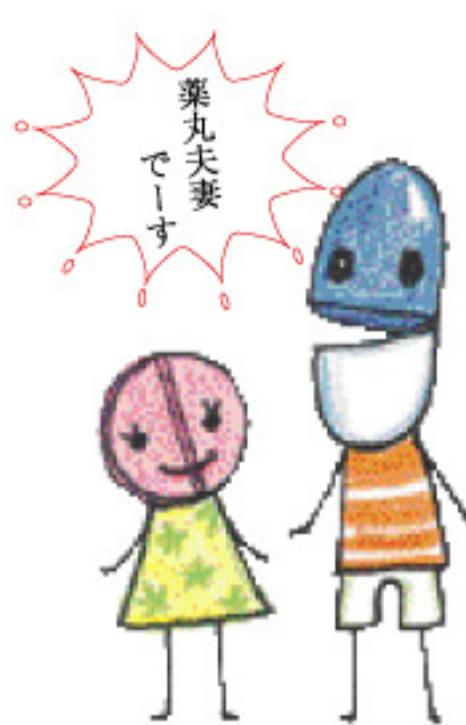
第2回 薬局編

スタッフへ知らせたりもします。

院内処方の患者様と院外処方の患者様がいるのはなぜ？また、内外の変更はできますか？



第二回目は薬局におじやまします。今回案内してくれるのは「薬丸夫妻」です。どんなお話を聞けるのか楽しみだね。



平松記念病院の薬局は薬剤師5名、助手1名で構成されています。仕事の内容は、外来や入院患者様の薬の調剤をはじめ、院内の薬品に関わる事すべてです。

薬局の中ではどんなことをしているの？

医師の発行する処方箋をチェックし、それに基づいて薬をつくつてあります。その他、院内の薬の管理をしたり、薬に関する情報を医師はじめ院内の



情報提供書は、患者様がご自分の服用している薬の内容を知るためにあります。これには、副作用や注意なども載っています。お薬手帳は、他の医療機関で処方された薬や薬局で買った薬の飲みあわせや重複をチェックするためのものです。

だから、お薬手帳は患者様お一人で一冊、他の医療機関や薬局で薬を受け取る場合に必ず提示していただ



現在、診療は病院で、薬は薬局でという「医薬分業」が進んでいます。自分のかかりつけ薬局で他の医療機関からの薬を受け取ると、飲みあわせや副作用のチェックをし、薬歴に記載して管理してもらいます。平松記念病院では、すべての患者様が院外処方ではありません。患者様との相談と医師の判断で院内・院外が決まっています。もちろん、内外の変更は患者様の意思で変更できます。

お薬手帳と情報提供書ってなに？

新しい薬が発売されるまでには、ずいぶん多くのお金と時間がかかります。新しい薬は発売されてから約十数年ぐらいは特許で守られ、他社はつくれることできません。特許が切れると、他社は同じ成分の薬を短期間で安くつくることができるようになります。これが、ジエネリック医薬品です。

どんな薬にも副作用はあります。副作用が出る、出ないは、患者様の体質・年齢などにより様々です。長い間同じ薬を服用しても、ある日突然、副作用ができる場合もあります。大切なのは、患者様自身が副作用かな？と思われる症状があつたら、早く医師又は薬剤師に相談することです。副作用が心配だからと、自分で薬を調節したり、中断するとかえつて病気の症状を悪化させてしまう場合もあるのです。

最近CMでみかける「ジエネリック医薬品」ってどんなもの？

当院の薬剤管理指導 担当 重元



第5病棟において病棟担当薬剤師が薬剤管理指導業務を行っております。主に薬の効果や使い方、注意点などをベッドサイドでご説明し、患者様との交流を心がけています。また、お薬に関するご相談にも応じています。

薬局より一言

名前が違っても成分が同じ薬や、飲み合わせが悪い薬が多くあります。お薬手帳を活用し、薬の重複・飲み合わせからご自分を守りましょう。また、薬局では患者様からの、薬の相談やご質問にも対応しています。ご遠慮なくいらしてください。



夏祭り&盆踊り大会

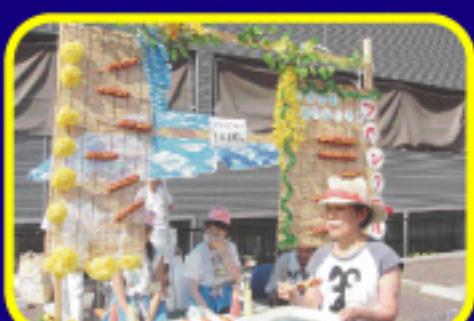
8月10日に夏祭り、盆踊り大会が開催されました。前半の部を「夏祭り」、後半の部を「盆踊り」という2部構成とし、地域住民の方々も多数参加しての一大行事となりました。フランクフルトやチョコバナナ・アイスやくじ引きなどの恒例の縁日も出店し、また、町内の『こぶし太鼓』をお呼びしたイベントも行われています。夜には盆踊りが、最後には打ち上げ花火も登場し、今年の猛暑に負けない熱気溢れる一日となりました。



仮装した司会者です。



圧巻!!
これぞ町内を代表する
「こぶし太鼓」



売れ行き抜群のフランクフルト。



恒例のくじ引きだよ。



藻岩をバックに盆踊り。



手持ち花火も大人気。



グランドフィナーレは打ち上げ花火!!

~研修医向けクルーズス(勉強会)の開催~

研修医用の研修プログラムとして、当院ではクルーズス(勉強会)を実施しております。各ドクター陣や各専門職のスタッフが講師となり、精神科医療や保健・福祉のノウハウを研修医に伝えております。全職員も聴講・参加が可能であり、職員一人ひとりにとって良い機会となっているようです。互いに刺激を受けながら、より良い病院を目指し日々奮闘していきたいと思います。



理 念

適切な精神科医療・保健・福祉をめざし次の二つの柱を基礎に据えます。

1. 精神障害者の医療および保護を行い、自立のために社会復帰および社会的経済活動への支援をします。
2. その障害の予防に取り組み、市民の精神保健の向上をめざし、地域に根ざした病院を目指します。

医療法人社団慈藻会 平松記念病院

編集後記



年間行事の一大イベント「夏祭り・盆踊り大会」が多数の地域の皆様の参加、御協力により大盛況となりました。患者様たちの楽しそうな笑顔がとても印象的で、この雰囲気を少しでも紙面に活かせていきたいと思っています。

石坂